

包み隠さず披露する、
という違い。

Nis Naked

「百聞は一見にしかず」の故事には続きがあるようで。

「百見は一験にしかず」、つまり

どれだけ見ても一度の体験には及ばない、というもの。

私たちトーシン不動産販売も、一生の買い物である住まいを
見て触れて確かめていただけるよう努めています。

N·istは、可能な限り完成してから販売活動を始め、
実物をありのままにご検討いただきたいと考えています。

建ち上がってからは見えない箇所については、
構造や配管のショールームを設け、中身を丸裸にしています。

それでもまだ充分ではないかもしれません。

販売スタッフがしっかりとご説明しても

100%伝えきれていると思えないこと。

住んでみなければ気づかれない点もあると自覚し、

ひたすら誠実に家づくりに取り組むことに尽きる、と考えます。

どんな宣伝文句より、実物の住まいこそが最高の広告。

他物件と納得のゆくまで比較検討していただくためにも、

すべてを“Naked=包み隠さない”で披露する。

その姿勢こそが、“N”·istの違いです。

「違う」に、こだわる。

N·ist

エヌ・イスト